

第6章 「積分法の応用」

14. 弧長(道のり)2

---

hm3-6-14

(pdf ファイル)

# 【発展】 曲線の弧長 (道のり)

媒介変数表示

$$x = f(t), y = g(t) \quad (a \leq t \leq b)$$

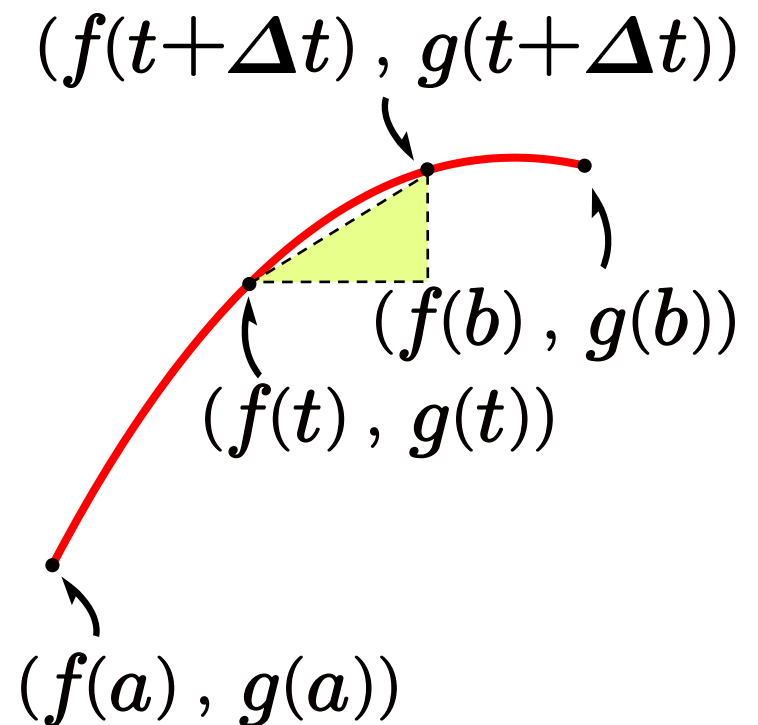
で与えられる曲線を  $C$  とする.

$C$  の弧長は,  $t = a$  から  $t = b$  までの間に点  $P$  が動いた道のり  $L$  であり

$$\begin{aligned} L &= \int_a^b \sqrt{\{f'(t)\}^2 + \{g'(t)\}^2} dt \\ &= \int_a^b \sqrt{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2} dt \end{aligned}$$

となる.

これが曲線  $C$  の長さである.



## もう一つの弧長公式

方程式  $y = f(x)$  ( $a \leq x \leq b$ ) で与えられる曲線  $C$  は、媒介変数表示

$$x = t, \quad y = f(t) \quad (a \leq t \leq b)$$

で表されると考えると、

$$\begin{aligned} L &= \int_a^b \sqrt{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2} dt \\ &= \int_a^b \sqrt{1 + \{f'(t)\}^2} dt \end{aligned}$$

$$L = \int_a^b \sqrt{1 + \{f'(x)\}^2} dx$$

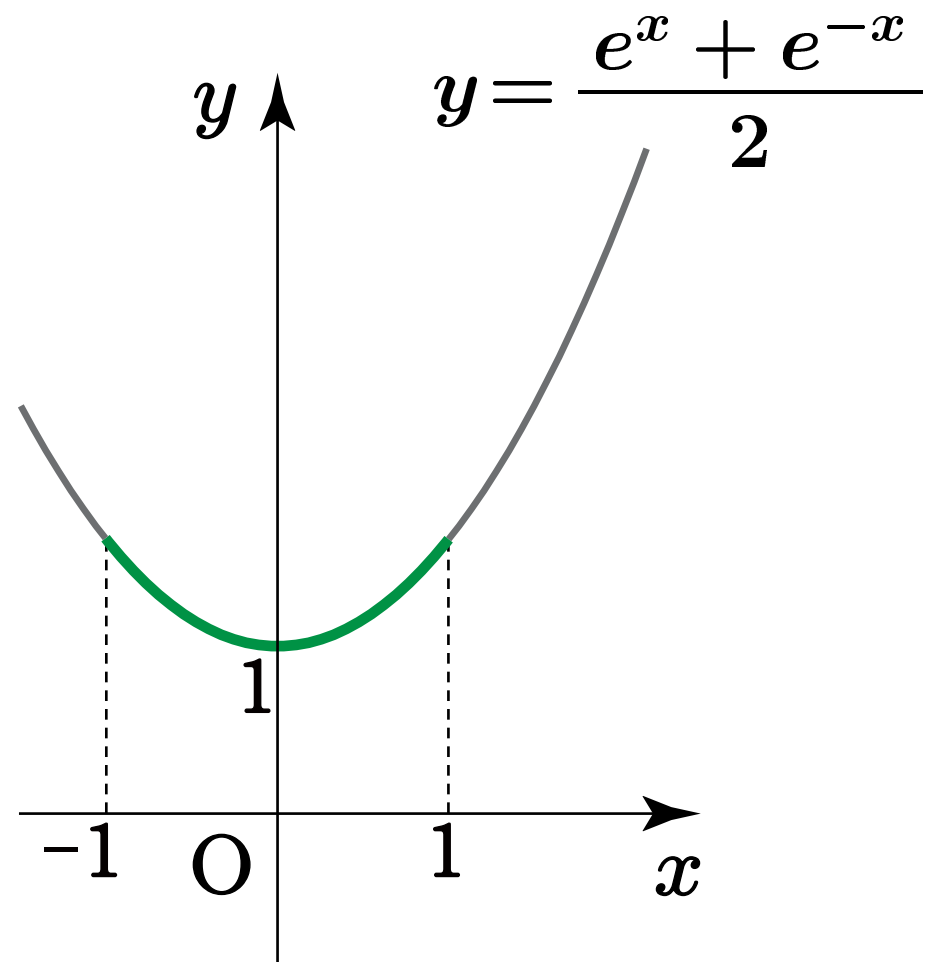
# カテナリー (懸垂曲線) の弧長

曲線  $y = \frac{e^x + e^{-x}}{2}$  ( $-1 \leq x \leq 1$ ) の長さ  $L$  を求めよう.

$$\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} =$$

であるから,

$$L =$$



# 【発展】 放物線の弧長

曲線  $y = x^2$  ( $0 \leq x \leq 1$ ) の長さを  $L$  とすると、

$$\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} =$$

$$L =$$

